

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第24回）（公開）

日時：令和元年12月2日（月）14：00～14：58

議事概要：

- （1）家畜に使用するビコザマイシン*に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

- 家畜に対してビコザマイシンを使用することにより、ビコザマイシンに対する薬剤耐性菌が選択される可能性は否定できないが、ビコザマイシンがヒト用医薬品として使用されていないこと、ヒトに使用されている抗菌性物質と構造が異なることから交差耐性が起こらないこと、耐性遺伝子を介した交差耐性についてもヒト及び家畜由来野外株において報告がないこと等から、特定すべきハザードはないと判断した。したがって、家畜にビコザマイシンを使用することによって選択された薬剤耐性菌が、食品を介してヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。
- なお、薬剤耐性菌に関する詳細な情報について、現時点では十分とはいえないことから、リスク管理機関である農林水産省において、適正使用や使用量等のモニタリング等を継続して実施するとともに、引き続き情報の収集に努めるべきと考える。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

- * 抗生物質で、動物用医薬品として牛及び豚の細菌性下痢症の治療並びに飼料添加物として豚及び鶏の飼料に使用されています。